

岐阜県立岐阜盲学校で防災講座を行いました

令和7年6月20日（金）、岐阜県立岐阜盲学校の小学部5名、中学部・高等部10名と保護者の方々に防災講座を行いました。学校の近くには、長良川が流れています。

講座では、この地域でも被害のあった昭和51年9.12豪雨災害など、過去に発生した水害や、近年頻発している線状降水帯について学習しました。

また、小学部は映像、中学部・高等部は映像とVRで浸水を疑似体験しました。体験後に、水害時の避難行動を質問すると、多くの児童や生徒が「上階へ逃げる」または「近所の高層マンションへ逃げる」と回答し、垂直避難への意識が高いことが伺えました。また、体験後の振り返りでは、「ドアが開かなかっただうしたらいい?」、「エレベーターに乗ったらだめか」などの声があがり、避難への気づきがみられました。

伊勢湾台風A | 語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、「被害はどれくらいですか?」「どんな風に避難したんですか?」などの質問をして、対話を通して水害への理解を深めました。

今回の講座が、児童・生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は岐阜放送に取材頂きました。

小学部



中学部・高等部

